

LEE, Yuan T. (台湾)  
 KROTO, Sir Harold (イギリス)  
 WEST, Robert (アメリカ)  
 SEEBACH, Dieter (スイス)

HOFFMANN, Roald (アメリカ)  
 HUISGEN, Rolf (ドイツ)  
 SOMORJAI, Gabor A. (アメリカ)

【合計 83 名 (邦人 68 名, 外国人 15 名)】

### 日本化学会フェロー一覧 (五十音順)

(敬称略)

相澤 益男	足立 吟也	蟻川 芳子	池上 正	石井 康敬	石丸 信吾	伊藤 卓	伊藤 翼
井上 伸昭	今中 忠行	今成 真	入江 正浩	植村 榮	植村 忠廣	内海晋一郎	梅澤 喜夫
大川 尚士	太田 博道	大坪 徹夫	大寺 純蔵	大野 公一	大橋 武久	大橋 裕二	岡田 茜
岡田 至	岡本 正義	荻野 博	長田 義仁	小尾 欣一	甲斐 學	角五 正弘	柏 典夫
門磨 義仁	岸本 泰志	北川 禎三	吉良 満夫	楠本 正一	國友哲之輔	倉内 紀雄	栗原 優
月向 邦彦	小泉 英明	鴻池 敏郎	後藤 達乎	小林 稔明	佐々木陽一	佐藤 忠久	眞田 信一
城田 靖彦	新海 征治	杉浦 正治	相馬 芳枝	曾我 直弘	高橋 成年	田島 慶三	竜田 邦明
辻井 薫	寺本 和雄	寺本 武郎	銅金 巖	富岡 秀雄	中井 武	永戸 伸幸	中西 敦男
中西 八郎	中野 博夫	奈良坂紘一	丹伊田 敏	新田 一誠	二瓶 好正	原口 紘丞	原田 征喜
原田 宣之	早川 芳宏	干鯛 眞信	平尾 公彦	平野 茂夫	廣田 襄	府川伊三郎	福井 寛
福嶋 喜章	古舘 信生	保坂 宏和	細見 彰	前田 修一	真木 隆夫	正本 順三	増原 宏
松崎 徳雄	松村 喜雄	松本 伸一	南 努	宮下 正昭	宗像 誠二	目黒 寛司	森川 忠則
諸岡 良彦	八浪 哲二	山添 昇	山近 洋	山辺 正顕	山本 嘉則	吉田 淑則	吉村 典昭
和田 啓輔	渡邊 英一	渡部 徳子					

【合計 107 名】

## 日本化学会第91春季年会 (2011) のお知らせ

第 91 春季年会実行委員会

第 91 春季年会 (2011) は 2011 年 3 月 26 日 (土) より 4 日間にわたり神奈川大学横浜キャンパスにて開催いたします。春季年会は化学に関する学術の進歩普及・産業の発展及び生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会し、日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じ学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの学会は、毎年 6,000 件にも及ぶ発表がなされ今回の春季年会においてもこれまで以上の研究発表の応募を期待するものであります。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学・産産連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」, 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画案 (「中長期テーマ」, 「イブニングセッション」) を紹介いたします。

これに加え、3 時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」, 会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「特別講演」, 次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄 (8・10・11・1・3 月号) でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開していきますので併せてご覧下さい。

**会 期** 2011 年 3 月 26 日 (土) ~ 29 日 (火)

**会 場** 神奈川大学横浜キャンパス (横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)

**実行委員長** 西村 淳 (群馬大学・名誉教授)

**内 容** アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) (口頭・ポスター)

アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) (口頭・ポスター)

特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座

中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・イブニングセッション・若い世代の特別講演・その他委員会企画ほか

**重要な日程** 講演申込期間 2010 年 11 月 16 日 ~ 29 日 詳細は本誌 10 月号

予稿原稿提出期間 2011 年 1 月 7 日 ~ 20 日

参加予約期間 2011 年 2 月 1 日 ~ 28 日 詳細は本誌 1 月号

プログラム公開 2011年2月21日(予定)

予稿集発行日 2011年3月11日(予定)

#### 問合せ先

日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

URL: <http://www.csj.jp/nenkai/>

アカデミック・プログラム (AP: 一般研究発表) の講演申込者及び講演者は原則として本会会員に限ります (アドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP) の場合は非会員でも申込が可能です)。発表予定の方で未入会の方はお早めに当会ウェブサイト (<http://www.csj.jp/kaiin/index.html>) よりご入会の手続きをお願いします。入会手続きに関しての問合せは下記までお願いします。

#### 問合せ先

日本化学会 総務部 会員担当

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話(03)3292-6169 FAX(03)3292-6317 E-mail: member@chemistry.or.jp

### 1. アドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP)

春季年会では化学技術分野を中心とする研究発表を適し、広く産学交流の促進を図る目的で2005年よりアドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP) を実施してきました。

7年目を迎える今期のATPでは、ニーズ/シーズ双方が出会い融合する場だけではなく、そこから生まれる新しい交流が予想もしえない何かに化けてほしい、という想いをこめ、以下の方針のもと、このATPにかかわる誰もが共感でき、有用なプログラムを提供していくことを計画しております。

#### Advanced Technology Program 2011

#### 化学の『夢』を共有し実現する出会いの場: 『ATP』をみんなで育て、革新的な成果に繋がる新たなシーズを育もう!!

- 産学の将来の夢とニーズを紹介!
- 将来の夢に繋がり得る最先端シーズを提供!
- “シーズとニーズの出会い”及び“異分野の人との出会い”により加速される“深化”と“進化”そして“新化”への新たな展開!
- 仕上げのどをうろおしながら、次につながる交流を!

**開催期間** 2011年3月26日~29日

※実施フィールド・セッションにより異なる

**開催場所** 神奈川大学横浜キャンパス

※第91春季年会会場内

**実施フィールド** 「先端機能材料」, 「環境・資源/新エネルギー」, 「バイオケミカルズ」

\*特色と留意点 1) 会員・非会員を問わず、広く産学官からの発表を募ります。2) すでに発表したもの、特許化・製品化済みのものも、発表できます。3) 化合物名や構造を可能な限り開示して、より深い議論を目指します。4) 昨年度の施策を引き継ぎ、新しい出会いと交流の場を様々な形で提供します。

\*最新情報はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開いたしますのでご覧下さい。

### 2. 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年会では、中・長期戦略に基づくシンポジウムであ

る【中長期企画】と複数の化学関連領域にインパクトがあり、新領域への発展が期待される「第2次先端ウォッチング調査」を実施し、その調査報告を行う【第2次先端ウォッチング イブニングセッション】を実施予定です。※テーマや趣旨に付きましては、決まり次第HPにてご連絡いたします。また、詳細に付きましては本誌1月号に掲載予定です。

### 3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内 (9時30分~12時30分または13時30分~16時30分) で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することとなり、開催日及び時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。なお、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等のお支払いはしていません。あらかじめお含み置き下さい。

1. 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
2. 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
3. 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
4. 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会及び実行委員会にて検討し、10件程度を採択させていただきますが、企画案によっては修正をお願いする場合があります。採択された特別企画につきましては、10月末までに最終企画書を再提出いただきます。

応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」及び「アドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認下さい。

**開催日** 第91春季年会会期の初日もしくは最終日  
**開催時間** 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 企画タイトル (和文/英文/略称)
2. 趣旨文 (約300字)
3. プログラム案もしくは講演者案
4. 開催予定日 (2011年3月26日及び29日)のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
5. 予想聴講者数
6. 企画責任者氏名、所属 (官学界、産業界各1名)
7. 応募者氏名及び連絡先 (勤務先所在地、電話番号、FAX番号、E-mail)

**締切** 2010年9月27日 (月)

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係  
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5  
 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp  
 電話(03)3292-6163

#### 4. 「特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演 (講演時間50分)願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会及び実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払い及び接待はいたしかねますので、あらかじめお含み置き下さい。

**講演日時** 第91春季年会会期中(採択時に決定させていただきます)

**講演時間** 50分

**推薦方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演候補者名・所属・役職・国名・演題 (仮題)
2. 専門 (なるべく詳しく) 及び推薦理由
3. 略歴 (年齢もお書き下さい)
4. 講演希望日 (会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望に沿えない場合もありますのであらかじめご了承下さい。例:3月27日午後)
5. 講演会場希望 (特別講演用会場もしくは一般会場)
6. 推薦者氏名及び連絡先 (勤務先所在地、電話番号、FAX番号、E-mail)

**締切** 2010年9月27日 (月) ※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

**推薦先** 日本化学会 企画部 年会係  
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5  
 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp  
 電話(03)3292-6163

#### 5. 第25回若い世代の特別講演会講演者募集

化学及び化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっております。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学及び化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようお願いいたします。

**会期** 第91春季年会会期中

**会場** 第91春季年会会場 [神奈川県横浜キャンパス]

**講演件数** 選考の上、20件以内 (講演時間:25分+討論5分)

**応募資格** 本会に1年以上在籍する40歳未満 (2010年4月1日現在)の個人会員。ただし、本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演申込書 (①講演部門、②講演題目、③氏名、④生年月日、⑤会員番号、⑥所属、⑦連絡先、⑧略歴)
2. 講演内容 (図表を含め2枚)
3. 講演に直接関連した発表論文リスト (学会発表、特許等を含み10件以内)
4. 申請趣旨 (研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの)

**講演部門** 1.物理化学、2.無機・分析化学、3.有機化学、4.材料化学・高分子化学、5.天然物化学・生体関連化学 (医薬品を含む)、6.複合領域 (情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギーを含む)

**締切** 2010年9月27日 (月)

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係  
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5  
 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp  
 電話(03)3292-6163

## 第42回国際化学オリンピック報告

化学オリンピック日本委員会

7月19日～28日に開催されました第42回国際化学オリンピックの結果は、下記ホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

<http://www.icho2010.org/ja/catalyzer.html>